

アベ政治を
許さず

参議院議員（比例代表）

2015年8月3日 Vol.4

なたにや正義

安法制関連ニュース



磯崎補佐官は自ら辞任を！

本日の質疑は、憲政史上初となる首相補佐官の参考人招致が実現し、その後に法案審議が行われました。磯崎補佐官の参考人質疑は冒頭、鴻池委員長が質問した後、委員を代表して民主党の福山哲郎議員が15分間、磯崎補佐官を質しました。

まず磯崎首相補佐官より「法的安定性は関係ない」などと述べたことについて、「私の軽率な発言により、委員会の審議に多大な迷惑をかけた。心からお詫びする。法的安定性が重要であることを認識している」と弁明し、不適切であったと陳謝があり、発言については取り消したいと述べました。しかし、首相補佐官については「引き続き職務に精励していく」として、辞任を否定しました。

これを受けて福山議員は、「安倍総理や政府は、法的安定性を維持しながら集団的自衛権の限定容認をしたと強弁してきた。それがよりにもよって総理の補佐官が『法的安定性は関係ない』と言い放った。責任は極めて重い。なぜ辞任せず居座り続けるのか」と辞任を迫りました。

しかし磯崎補佐官は「職務に専念することで責任を果たしていきたい」と拒否。

さらに福山議員は、磯崎補佐官の過去の発言も取り上げ、「報道への介入姿勢、国民がこれだけ違憲だと言っているのに『違憲だという声は聞いたことがない』という態度、『存立危機事態では戦うこともありうる』と言い『必要最小限度』の範囲を非常に引き延ばす発言。この補佐官を安倍総理がかばい、その任を続けさせることは安倍政権の基本的スタンスであり、安倍政権と磯崎補佐官の本音が同じだ」と述べ、特別委員会でも引き続き、この問題を追及し、安倍総理の任命責任と磯崎補佐官の辞任を求めていくと述べました。

また、この参考人質疑に引き続いての法案審議では小西洋之議員が質問し、政府が集団的自衛権行使の後ろ盾として72年政府見解を引用していることを取り上げ、この中に同盟国への武力攻撃も読むことができると安倍政権が主張していることについて、「この見解は72年9月14日の参院決算委の質疑を踏まえて作られた。この中のどこに限定的集団的自衛権を論理として示しているのか」と質しましたが、横島内閣法制局長官からは明確な答弁はありませんでした。

なたにやの「今日のひと言」

法案の根底を覆す発言が安倍総理のお膝元である首相補佐官から発せられたということは、お詫びや取り消しで済む問題ではありません。

磯崎補佐官は自覚を持って、自ら辞任をするしかないと思います。

磯崎補佐官が本当に国を愛する人物なら、辞任することなどたやすいことでしょう。

今後の特別委・開会予定

8月4日(火) 9:00~17:00 (TV 中継予定)

5日(水) 10:00~17:00

6日(木) 開会予定(開会、質疑時間未定)

明4日(火)は安倍総理が出席し、小川勝也議員、櫻井充議員が質問に立つ予定です。NHK での中継も予定されています。5日(水)の質疑者は調整中です。

なお、7日(金)は衆院予算委員会が予定されており、特別委員会は開会されない予定です。

発行：参議院議員 **なたにや正義** 事務所

〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 409 号室

TEL: 03-6550-0409

FAX: 03-6551-0409

masayoshi_natania@sangiin.go.jp

http://natania.jp/